

観光行政は、岐路に立っていないか

質問Ⅱ町職員を「株」ソラヤマいしづちに派遣できないか

答弁Ⅱ西条市と協議中である



伊東 ひさたけ 議員

石鎚山系の4市町村で取り組んでいる「四国西部エリア戦略型観光サービスクリエーション」を展開していく上では、高知県側の主導的立場を担い、町内の観光協会をはじめとする各種団体との連携、地域内のあらゆる産業の民間企業・事業者との連携・連絡・調整などのパイプ役を担うことなど、町には強力な支援体制が求められていると同時に町の存在感をアピールすることが責務と考えている。町として、職員を「株」ソラヤマいしづちに派遣できないか。

池田町長

平成30年10月からは、愛媛県西条市、久万高原町、高知県大川村、いの町の1市2町1村で新たに「四国西部エリア戦略型観光サービスクリエーション」に着手した。翌月11月1日には、中心的役割を担う「株式会社ソラヤマいしづち」を立ち上げ、業務を開始した。町においては、理念・戦略を実行するためにも、強い意気込みと存在感の発揮が求められていると自覚し、町の強力なサポート体制と「株式会社ソラヤマいしづち」を最大限に活用することで、地域が活性化し、町民が豊かになることができる体制の確立が重要かつ急務と考えており、仲介役としての役割を担う責務が町にあると考えているが、「株式会社ソラヤマいしづち」に職員を派遣するには、町を退職してからとなるので、難しいが、現在派遣について西条市と協議を重ねている。

冬季の山岳観光対策

質問Ⅱ冬場の観光資源を

現地視察しないか

答弁Ⅱ本川総合支所と連携し現地に行く

伊東議員

「山荘しらす」と道の駅「木の香」を観光の拠点として整備している。最近では「にこ淵」に代表される仁淀ブルーの美しい水辺環境の魅力やトヨタカローラのCMで話題を集めた「町道瓶ヶ森線（通称UFOライン）」の絶景ロード、その沿線の雄大な山々が魅せる四季折々の持つ魅力あふれる風景など、観光客や登山客は近年多くなっているように思えるが、既存観光施設の経年劣化や、施設形態がお客様のニーズに合っていないなどの理由から、集客力は、弱まり観光資源を有効に利用した産業の活性化は、成功しているとは言いがたい。この両施設をどのように生かし活用していくのか、将来構想を含め、冬季の山岳観光資源の現地視察をしないか。

池田町長

本川地区は、県内でも一、二を争う寒冷地域であり、積雪のある地域である。冬季の観光客は、寒冷地ならではの、霧氷や樹氷といった地域特有の自然美を求め訪れている。しかしながら、厳冬の道路事情は厳しく、凍結などにより通行も困難を極め、訪れる観光客は大幅に減少しているのが現状である。CMで話題を集めたUFOラインも平成30年11月30日から平成31年4月上旬まで冬季閉鎖している。こうした中「四国西部エリア戦略型観光サービスクリエーション」に取り組み、「株式会社ソラヤマいしづち」を立ち上げたこの機会に、本川地域特有の魅力あふれる冬季の自然資源を商品化につなげ、冬季の観光産業の集客力向上に取り組み、「山荘しらす」は、改修工事に着手し、平成33年4月にリニューアルオープンを目指している。冬季の拠点となる施設として位置付け、通年営業の可能性を探ると同時に、冬季閉鎖を行っている。UFOラインの冬季利用も検討



東黒森山の霧氷



西条市観光交流センター
(DMC事務所予定地)

し、自然美の鑑賞ツアーやスノーシューなどの体験ツアーの商品化を図るべく「株式会社ソラヤマいしづち」と連携し、観光客誘致を可能とすべく、魅力あふれる商品開発に取り組んでいく。そして、冬季の観光資源は、本川総合支所と連携し、現地視察を実行するよう考えている。